

東京都指定 2 次救急医療機関
(財) 日本医療機能評価機構 認定病院
人間ドック・健診施設機能評価認定
日本消化器内視鏡学会 指導施設認定
日本外科学会外科専門医制度関連施設

2017.5 313号



Suzuki Health Tomorrow



医療法人

浩生会スズキ病院

〒176-0006 東京都練馬区栄町 7-1 TEL 03-3557-2001

<http://www.suzuki-hospi.or.jp>



埼玉県 加須市騎西町

〈院内研究発表会より〉

療養環境調整の実態と今後の課題

看護部：山下奈穂子、進藤智太郎、辻本美香莉

はじめに

患者が安心・安全に治療に専念できるように努めること、また QOL (Quality Of Life “生活の質”の略。)を尊重した環境を整える事は、看護師にとって重要な役割である。看護部では5S活動（整理・整頓・清潔・清掃・しつけ）によって、全ての物に定位置を決めるなど、療養環境の改善への取り組みを行なっている。しかし、病棟スタッフより活動が不十分なのではないかとの意見が聞かれたことから、病棟での現在の療養環境調整の実態を把握し、今後の課題を明確にしたいと考え、今回の研究テーマとした。

I 研究方法

研究期間：2016年8～9月

対象：病棟看護師

方法：①病棟看護師への無記名記入方式による意見聴取（8～9月）

②病棟内のラウンドによる実態調査（9月実施。看護研究スタッフにより、実際の業務の中で療養環境について気になる点を調査）

③文献検索による望ましい療養環境と病棟の現状の比較

II 結果

アンケートの結果、多くの看護師から聞かれた意見、他の看護師が気付きにくい点を指摘した意見など、様々な意見が聞かれた。以下は意見の抜粋である。

『多数意見』

- ・顔拭きなどで使用したタオルがベッドサイドに置きっぱなしである。
- ・清潔なものと不潔なものが一緒に置いてあることがある
- ・オムツ交換時などに臭いがこもりやすい。
- ・（個室の）ソファがトイレの中に入れてあったり、ソファが荷物置きになっていたりする。

『少数意見』

- ・ゴミ箱があちこちに置いてあり、躓き転倒の危険がある。
- ・面会者が使った椅子や使用していない点滴スタンドがそのまま置かれていることがある。
- ・離床センサーやエアマットなどコード類が多い。引っかかりやすく、断線の危険がある。
- ・窓の棧やベッドフレームの汚れが気になる。
- ・寝たきりの患者で、手の届くところにナースコールやティッシュなどの必要物品が置かれていないことがある。

上記以外にも、『テレビ台の後ろに収納があり、使いにくい』、『空調が調節できない』など、すぐに改善することが困難な施設的な問題を指摘する意見もあった。

Ⅲ 考察

角濱らによると、療養環境に影響を与える要因として、①湿度、温度、気流 ②採光と照明 ③臭気 ④プライバシー ⑤音 ⑥空気の清浄性がある。今回のアンケート結果から見てきた当院の問題点や良い点を項目ごとに分類すると、以下のようになる。

①温度、湿度、気流

- ・空調の調整ができない

②採光と照明

- ・窓が大きく、外光を取り入れやすい
- ・3F 談話室が病室に比べて暗い

③臭気

- ・オムツ交換時などに臭いがこもりやすい
- ・トイレや汚物室の臭気

④プライバシー

- ・検尿カップ置き場が壊れていて汚い。また、プライバシーの配慮に欠ける
- ・自立している患者のいる大部屋でのオムツ交換時、プライバシーが気になる
- ・IC 部屋がなく、ナースステーションで行っているため、個人情報に関わる

⑤音

- ・隣の部屋の声が聞こえることがあり、静かに療養できない

⑥空気の清浄性

- ・オムツ交換時などに臭いがこもりやすい



臭気や空気の清浄性に関しては、特にオムツ交換時に気になるとの意見が多く見られている。看護師だけでなく患者にも不快感を与える要因であり、十分な対処が必要である。

療養環境の良し悪しは、患者の自然治癒力に大きく影響を与える。ここでいう環境とは病室の設備や音・光・臭いなどの外的要因だけではなく、看護師という人的要因も中に含まれる。

以前より、5S 活動によって、物の位置を決める、定期的に清掃を行うなど、療養環境の改善への取り組みを行ってきた。それにも関わらず今回の調査では臭いや汚れが気になるとの結果となった。考えられる要因としては、日々の業務の忙しさの中で、5S 実施が不確実であること、スタッフ1人1人の整頓や清潔の基準が異なっていることが挙げられる。今後も快適な療養環境の調整を図るために、病棟の療養環境の基準を決める、職員の意識と行動の改善を行ない、5S 活動のしつけを徹底することが必要であると考えられる。

療養環境の調整は、患者の快適な療養生活に欠かせないだけではなく、スタッフが安全に業務を行なう為にも重要である。そのため今後も5S 活動の継続的な取り組みが必要である。

また、施設的な問題は改善することが困難ではあるが、スタッフの配慮でカバーできるように、人的要因であるスタッフ一人一人が誠実な対応を心がけることも重要であると思われる。

おわりに

今回の看護研究が、スタッフ一人一人が快適な療養環境について考えるきっかけになれば良いと思います。

引用文献

看護実践の科学 Vol.36 No13 2011年 12月号 P14 - 19

診療放射線技師のつぶやき

桜に変わりつつじが見ごろの季節になってきました。段々と暖くなり日中は上着がいらぬ日も増えてきましたが、当院では発熱や咳などの患者さんが多く来院されている状況です。例年以上にインフルエンザの流行も長引いており、皆さんもちょっとおかしいなと思われましたら我慢せずにはまず受診をしてください。

話変わります、当院では昨年3月末より現在に至るまで、MRIの稼働を停止しておりご不便、ご迷惑をおかけしております。

院長を中心に新機種を選定に約一年間かけましたが、やっと決定、契約を致しました！

〇シーメンスヘルスケア社製「MAGNETOM ESSENZA Evo」

当院では初の高磁場装置（1.5T）となります。画質の向上や撮影時間短縮はもちろん、当院の旧機種ではできなかった「急性期脳梗塞」の診断も可能になります。

また、「MRI＝騒音」というイメージを覆すかも知れない「静音撮像」や、腹部など呼吸の動きのある部位でも高画質撮影を可能にする「体動補正（＋横隔膜同期）」など最新の機能を備えております。

今秋の稼働開始を目指してMRI室の改修工事を行います。

まずは旧MRI搬出作業のため、5月3日（水祝）～7日（日）までは1階ロビーに立入禁止区域を設けさせていただきます。

騒音やほこりなど皆さんにはご迷惑をおかけ致しますが安全第一で行いますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。

Coming
Soon !



「男鹿のナマハゲ」

看護部 K

私は秋田県の男鹿市というところで生まれました。男鹿といえば、ナマハゲの里として知られています。ご存知の方もいるかもしれませんが、ナマハゲとは、言うことを聞かない子どもや怠け者を懲らしめる鬼のことです。

男鹿のナマハゲは秋田の冬の伝統行事なのですが、これには苦い思い出がいろいろあるので、そのエピソードを少しだけ皆さんに紹介させていただきます。

男鹿市の一部の地域では大晦日の夜、ナマハゲの格好をしたその地区の大人たちが「泣く子はいねーがー！」と大声を張り上げながら各家庭を回ります。もちろん我が家にも毎年やってきました。玄関先に来て終わりではなく、家の中まで上がりこみ子どもたちを追いかけて回るので本当に怖かったです。

皆さんにとって大晦日は一家団欒で過ごす楽しい日だと思うのですが、私にとってはすごく嫌な1日でした。日が暮れて暗くなってくると、いつナマハゲが来るかドキドキして晩御飯ものどを通りません。そして、あの唸り声だんだん自分の家に近づいてくるときの恐怖感といったら、もうなんとも言えないものがありました。「なんで自分はこんなところに生まれてきたんだろう…」と何度も思ったものです。

毎年弟とナマハゲに見つからないように家のあちこちに隠れるのですが、結局見つかってしまいます。私たちが号泣して「お父さんとお母さんの言うことをちゃんと聞きます。ごめんなさい。」というまでナマハゲは帰ってくれませんでした。

ナマハゲは無病息災の神様なので、両親はわが子を散々怖がらせ、泣かせたナマハゲを怒るところか、丁寧に敬礼を言いお酒などでもてなします。それを毎年、何とも解せない気持ちで眺めていたことを懐かしく思い出します。そんな私も親になり、我が子にナマハゲを見せる機会が何度かありました。トラウマなのか、やっぱり大人になってから見ても怖かったです。

私の地区では、子どもの数が減ってしまい、数年前からなまはげが各家庭を回ることはなくなりました。少し寂しい気もしますが、今はなまはげ伝承館という詩説もあり、いつでもなまはげを体験できるので観光客に人気のスポットとなっています。またなまはげ伝道師という資格もあり、若い世代や他県の方でも試験を受けに来て下さるそうです。

大事な秋田の風物詩として細々と受け継がれていることはやはり嬉しいです。我が子たちの心の中にも懐かしい冬の思い出として残っていてくれていればいいと思います。秋田にはなまはげの他にも大曲の花火大会や竿灯祭り、おいしい地酒や魚など魅力的なものがたくさんあります。皆さんもお近くに行った際はぜひ秋田にも立ち寄ってみて頂ければと思います。



絹ごし豆腐入り白玉団子

<材料 13 個分>

白玉粉 30g

上新粉 10g

絹豆腐 40g

粒あん缶詰 適量



<作り方>

- ① 白玉粉、上新粉、絹ごし豆腐をボールに入れよく混ぜる。白玉粉のツブツブがなくなり、表面も滑らかにまとまってきます。
- ② ①を 13 個に丸める。
- ③ 鍋に湯を沸かし、②の白玉を茹でていきます。浮いてきたら出来上がり。
- ④ ③を冷水に取る。
- ⑤ 器に盛り、あんこをかける。



スズキ病院 4つの決め事

1. 氏名や生年月日、検査などの確認は声を出して行う。
2. 患者さんはフルネームでお呼びし、入院患者はリストバンドで確認する。
3. 患者さんに自分の名前を言っていただく。
4. 口頭指示は、メモをとり復唱する。

患者さんの権利

- 医師や病院の選択の自由と、セカンドオピニオンを受ける権利
- 診断・治療に関する情報を得て、同意または拒否する自己決定権
 - ・意識喪失患者は、家族または法廷代理人の同意が必要（緊急時は例外）
 - ・法的無能力者も、家族または法廷代理人による本人の意思決定への参加
 - ・患者さんの意思に反する処置、治療は法の許容範囲内で例外的に実施
- 十分に説明を受ける権利と共に、知らされない権利
- 医療に関する秘密が保持され、個人情報保護される権利
- 予防・早期発見と医療を選択する権利と自己責任
- 尊厳を尊重し、苦痛のない人間的な終末期ケアを受ける権利
- 聖職者による霊的・倫理慰安などの宗教的支援を受ける権利



浩生会スズキ病院理念

- 1 私たちは、練馬区の中核病院として地域医療に貢献することの責務を自覚し、安全良質・高度な医療を行ないます。
- 2 私たちは、愛と和の精神をもって、暖かく思いやりのある医療人であることに努めます。
- 3 私たちは、進取な心構えで自己研鑽に務め持てる能力を最大限に発揮すべく努力をしていきます。



浩生会スズキ病院の基本方針

1. 私たちは、患者さまのプライバシーを守り、意思と権利と安全を尊重した医療を実施します。
2. 私たちは、自己研鑽に努め、最新の医療知識と技術に基づいた医療を提供します。
3. 私たちは、地域の人々や他の医療機関、福祉・介護機関と共に医療・介護と福祉のネットワークを進め、腹部2次救急、消化器外科・悪性腫瘍の専門治療、急性期高齢者医療を実施し、地域医療に貢献します。



診療科目・診療担当者表

平成 29 年 4 月 1 日 改訂

		月	火	水	木	金	土
午前	内科	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)
	糖尿病内科	澗潟					
	消化器外科・外科	病院長	病院長	病院長	病院長	病院長	病院長
				平野			新井田
	循環器内科	佐藤(直)☆		鈴木(臣)☆	福田☆		矢部
	呼吸器内科			加藤☆			加藤☆
	整形外科		坂本				
	訪問診療	鈴木(小)	古川	町田	鈴木(小)		
リハビリ	植田	植田・我妻		植田	植田・我妻	植田	
午後	内科	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)
	消化器外科・外科		平野				平野
	整形外科(2:30~)		坂本			林	坂本
	呼吸器内科	加藤☆			神尾		第2週休診 Pm2:00 ~
	泌尿器科	芦澤					
	訪問診療	鈴木(小)	古川	町田	鈴木(小)	鈴木(小)	安田
	リハビリ	植田・我妻	植田・我妻	我妻	植田	植田・我妻	植田

※ 診療日:月~土曜日 休診日:日祝祭日。(急患の方は、24 時間受付しております。)

※ 診療受付時間 : 8 : 30 ~ 11 : 30、13 : 00 ~ 16 : 30

※ ☆:予約制です。

